

## ■ 成長に向けた「挑戦」の政策

◆新規 ◇拡充

### 5 自立を育む教育環境の充実

#### ①自ら学び、論理的に考えることのできる力の養成

◆きのくに学力向上総合支援 14,610(-)  
(学習到達度調査を行うとともに、小学国語・算数と中学数学の教員研修を充実)

◇「ことばの力」向上プログラム 1,184(1,209)  
(確かな学力の向上のため、読書活動や表現活動を実施)

◇国際的に活躍できる人材教育 14,500(11,682)  
(英語によるディベートやディスカッション等を取り入れることにより、英語の実践力を強化)

◇きのくに科学オリンピック 2,170(2,668)  
(科学の甲子園予選会の開催などを通じて科学に関心を持つ子どもを育成)

◆ICT利活用推進 17,113(-)  
(県立中学校に電子黒板等を導入し、より分かりやすい授業を実施)

◇道徳教育の徹底 17,134(-)  
(新たに作成する「読み物資料集」を活用し、学校での道徳教育を徹底)

◇郷土教育の推進  
(ふるさと教育副読本「わかやま何でも帳」を活用したふるさと学習の充実)

◇特別支援教育の充実 12.8億円[16.2億円](3.5億円)  
(医療的ケアを必要とする児童生徒が在籍する特別支援学校へ看護師を派遣するとともに和歌山さくら支援学校を新設)

◇わかやま学校・地域防災力アップ 34,001(40,560)〈一部再掲〉  
(釜石の教訓を取り入れた防災教育や高校生防災スクールの実施拡大)

#### ②健やかな成長と発達の支援

◆子どもの生活習慣づくり 2,394(-)  
(規則正しい生活習慣確立のため、「早ね・早おき・朝ごはん」運動を推進)

◆楽しく元気にパワーアップ 8,938(-)  
(楽しみながら運動できる和歌山オリジナルのエクササイズとダンスを開発し、小中高で実施)

◇子どもの体力向上支援 3,250(3,009)  
(きのくにチャレンジランキングの実施等)

◇市町村対抗ジュニア駅伝大会開催 17,703(18,767)

◇いじめ対策総合推進 168,138(104,088)  
(いじめ問題の未然防止、早期発見、早期対応を図るため、スクールカウンセラー等の拡充や学校サポートチームによる支援を実施)

◇リレー式次世代健全育成 4,094(3,826)  
(市町村、子育てサークル、青少年育成団体等が協力し、地域全体で青少年を育成するシステムを構築)

#### ③問題を抱える子どもへの対応

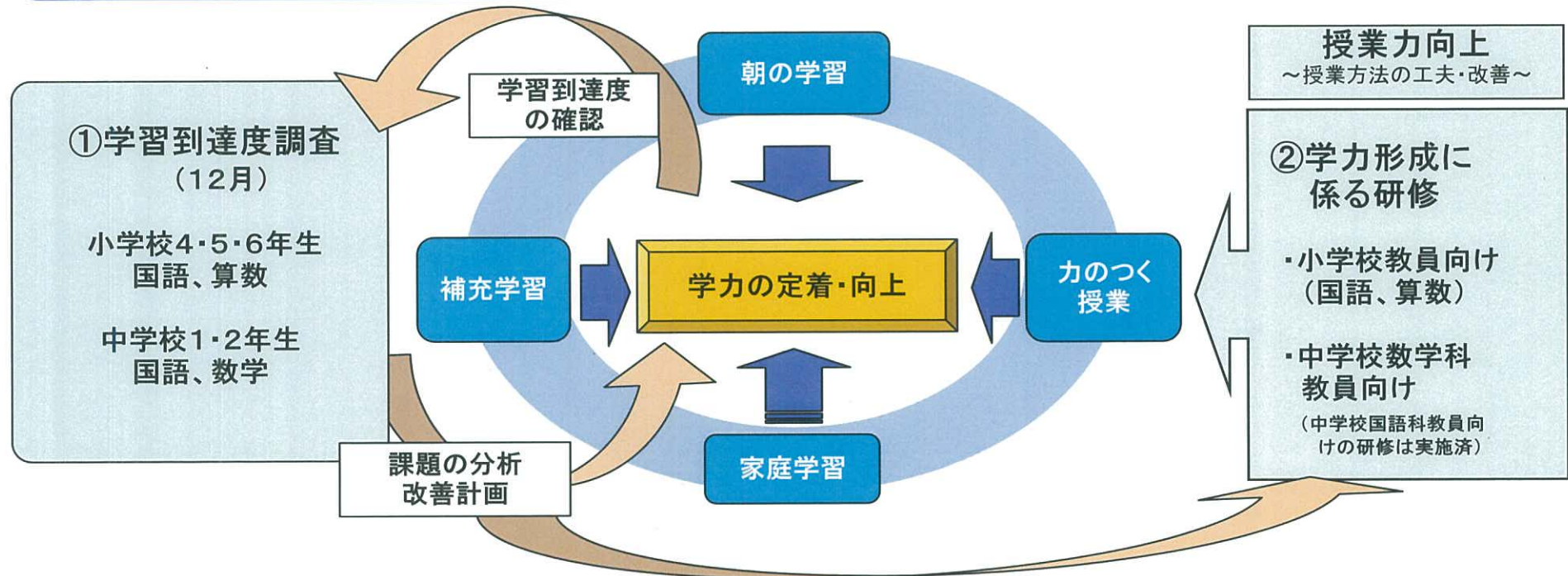
◆少年の非行防止・保護対策の強化 35,493(20,748)  
(少年サポートセンター紀南分室の新設など、少年の非行防止対策を強化)

◇若者自立支援 42,415(43,568)  
(社会的生活を営む上で困難を抱えた青少年に対する総合相談窓口(With You)の設置等により自立を支援)

# きのくに学力向上総合支援

平成25年度：14,610千円  
(新規)

- ①学力・学習状況の的確な把握をするため、県統一の学習到達度調査をすべての小中学校で実施
- ②小学校教員及び中学校数学科担当教員を対象に、授業力向上のための研修を実施



## ICT利活用推進

平成25年度：17,113千円  
(新規)

県立中学校において電子黒板等ICTの特性を生かした、  
より分かりやすい授業を実施

### ○ICT環境の整備

県立中学校5校の普通教室に電子黒板  
等を整備し、指導者用デジタル教科書等  
を効果的に活用した授業を実施

### ○普及・啓発

各県立中学校での公開授業等により  
県内各学校へ普及・啓発

### 生徒への効果

視覚情報の拡大表示や動画等を活用した授業  
が可能となることで、授業における関心、意欲  
が高まり理解が深まる

《例》

理科：実験動画の停止、スロー再生により理解が深まる

英語：音声スピードの変更によりヒアリング能力が向上

総合：課題の共有ができ、生徒のプレゼンテーション能力がアップ

(参考)

#### ・電子黒板

デジタル資料等の拡大提示や生徒の作成した資料、  
ノート等を提示

#### ・デジタル教科書

動画、音声等、これまでの紙の教科書では表現できな  
い情報を登載

## 楽しく元気にパワーアップ

平成25年度：8,938千円  
(新規)

本県の児童生徒の体力は全国平均を下回る

和歌山オリジナル  
「紀州っ子ががやきエクササイズ・ダンス！」の開発

県内全学校の体育授業で実施

小学校では、  
リズムに乗って体づくりのエクササイズ

中学・高校では、  
全身を使って楽しくダンス

さらに、休憩時間、放課後、運動会等でも活用

〈目標〉 3年後に、本県児童生徒の体力が全国平均を上回る

## いじめ対策総合推進

平成25年度：168,138千円  
(104,088千円)

いじめ問題の未然防止、早期発見、早期対応を図るためスクールカウンセラー等の拡充や学校問題サポートチームによる支援を実施

### 未然防止

- ピアサポート活動等の推進
  - ・子ども同士が支え合い、いじめを許さない学校づくりに、主体的にかかわろうとする態度と技能を身につけるための、指導方法の教員研修
- 児童会、生徒会の活性化
  - ・児童生徒の自発的・自治的な活動を通じて、「いじめを許さない」取組を推進  
児童会・生徒会サミット開催

### 早期発見・早期対応

- スクールカウンセラー等の拡充
  - ・全中学校・高等学校への配置  
中学校(93校→128校)  
高校(43校→54校)
  - ・小学校・特別支援学校への配置拡充  
小学校(30校→70校程度) **配置校倍増**  
特別支援(0校→9校) **新規**
- スクールソーシャルワーカーの拡充
  - ・児童生徒を社会福祉面から支援  
配置市町:10市町→14市町  
配置人数:10名 →20名 **配置人数倍増**

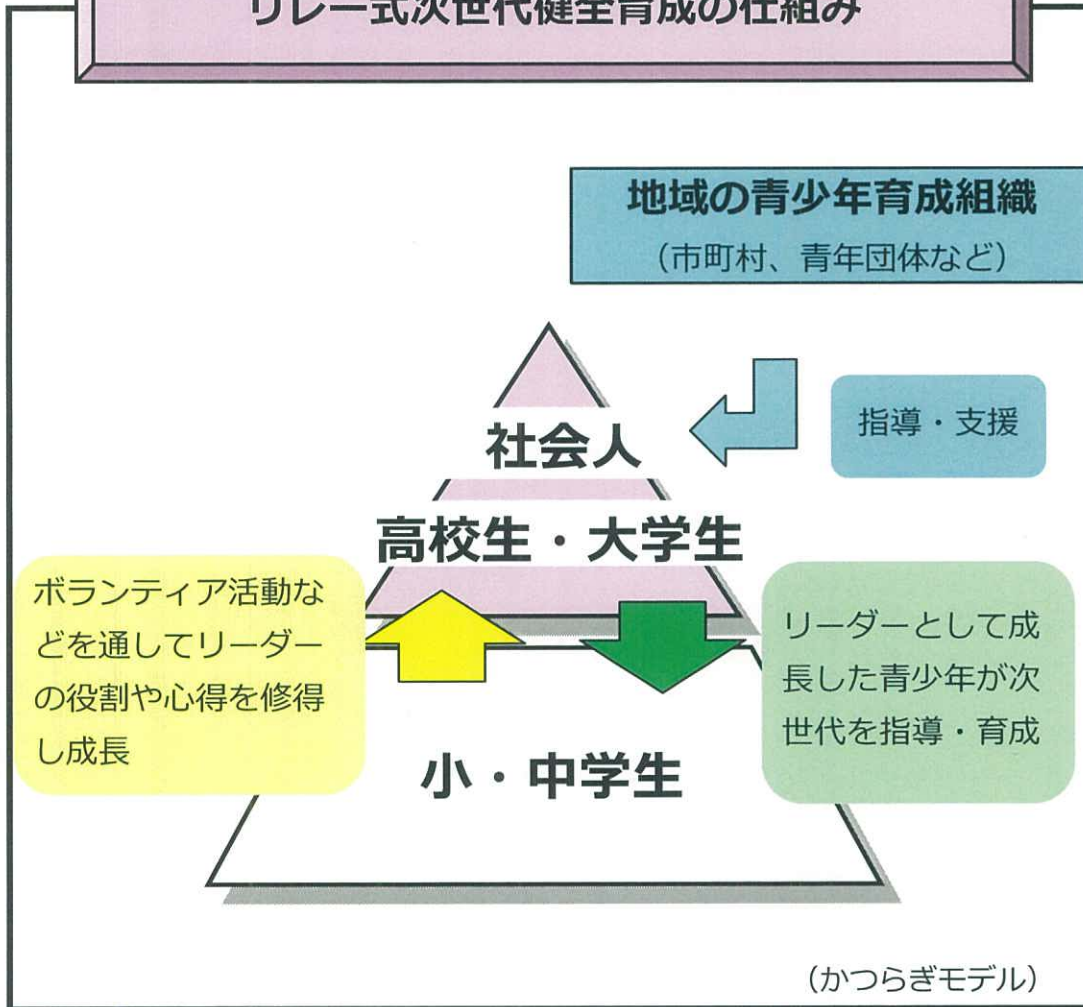
### 学校への支援体制の充実

- 学校サポートチームの設置
  - 外部専門家(弁護士等)が、解決に苦慮する事案に関する学校の対応を支援
- 「いじめ問題対応マニュアル」の活用の徹底
  - ケースの多様性に応じて迅速・柔軟に対応するための活用と校内研修の実施
- いじめの実態に関する学校へのヒアリングの実施

## リレー式次世代健全育成

平成25年度：4,094千円  
(3,826千円)

### リレー式次世代健全育成の仕組み



### 平成25年度の取組

地域全体で青少年を育成するシステムを県内各地域で構築

#### ○地域の育成力を考えるフォーラム

- ・県民への青少年育成の意識付け
- ・システム構築の呼びかけ

#### ○地域育成力強化ワークショップ

- ・地域で青少年の育成について話し合い、立ち上げるまでを支援

#### ○アドバイザー派遣

- ・取組方法に対する助言

## 少年の非行防止・保護対策の強化

警察本部

平成25年度：35,493千円  
(20,748千円)

学校支援サポーターの増員や少年サポートセンター紀南分室の新設など、  
児童生徒の健全育成に向けた学校と警察の連携強化

### 少年サポートセンターの強化

#### 現行の体制

##### [サポートセンター]

- 警察本部少年課内に設置
- 少年サポート等 6人  
(必要に応じて学校を巡回するなど機動的に対応)

##### [学校]

- 学校支援サポーター 4人  
(問題行動が多く見られる学校に常駐)

紀南の  
拠点設置

人員の増強

#### 見直し後の体制

##### [サポートセンター]

- 警察本部に加え  
**「紀南分室」を田辺署内に新設**
- 少年サポート等 9人**(3人増)**  
(うち3人を紀南分室に配置)

##### [学校]

- 学校支援サポーター 8人**(4人増)**  
(人員倍増によりきめの細かな対応)

#### 主な業務

- 非行防止教室の開催
- 非行少年等への定期的な相談
- 立ち直り支援活動の実施
- 広報啓発活動の実施
- 暴力行為、問題行為の多い学校対象
  - ・学校の内外巡視
  - ・児童生徒の個別指導等